

活動紹介

■活動場所

内部地区には、波木・北小松・南小松・采女中部・采女が丘の5ヶ所にホタルが生息し、「ホタルを守る会」が組織されています。

■活動日、活動頻度等

ホタルの活動は、ホタルの生活史に合わせた、年間事業計画を組んで進めています。

■活動内容

①4～6月ゲンジボタルの幼虫上陸から蛹化・羽化の生態調査の実施。

②同時期に内部・内部東小学校へホタルのパネル展示を実施。

③各地区ホタルの会によるホタル観察会の実施(5ヶ所)

④各地区にてホタル飛翔調査と水質調査の実施。

⑤各地区のホタルを守り・育成してゆくための独自課題の取り組み。

⑥①～⑤までの一年間の取り組みを、8月から各地区でまとめを行い、11月の秋のホタルの報告会で発表する。

⑦内部地区でも北小松と采女が丘地区にて太陽光発電の設置問題が発生しており、ホタルへの影響を調査し、対策をしていく。

⑧四日市公害と環境未来館との共催で「親子田んぼ体験」を実施。30年度も実施予定。

⑨内部地区のまちづくり計画(マスタープラン)の「自然・歴史・文化」の取り組みに参画、協力してゆきます。



代表者の環境や活動に関する思い

内部地区のみどり豊かな自然とホタルを守り・育てて行くことが、私たち内部ホタルの会の目的です。そのために30年度も、内部地区でのホタルの生活史(生態調査)に力を入れます。1つには、内部・四日市の子供たちを対象にした農業体験(田植え教室)を行い、農業や自然環境に対する学びの場を作ってゆきます。

2つには、教育の場である小学校(内部小学校・東小学校)にてホタル講座(パネル展示)を行います。

以上、30年度もみどり豊かな自然とホタルを守り・育てて行く活動を少しでも強化できるよう努力して行きます。

